

各会計決算

会計名	歳入	歳出
一般会計	140億 5,202万円	137億 969万円
国民健康保険事業勘定	25億 8,679万円	23億 7,626万円
国民健康保険直営診療施設勘定	1億 4,436万円	1億 3,322万円
老人保健	26億 7,794万円	27億 2,087万円
下水道事業	11億 1,527万円	11億 540万円
農業集落排水事業	3億 521万円	3億 392万円
介護保険	15億 9,735万円	15億 6,691万円
ケーブルテレビ事業	3億 266万円	2億 9,116万円
合計	87億 2,957万円	84億 9,773万円
合計	227億 8,159万円	222億 742万円

※各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしているので、合計額が異なる場合があります。

水道事業会計決算

年間収水量（料金として徴収される水量）は、前年度より30,134 m³増加し、給水収益は6,539,728円の増収となりました。計画区域内の普及率は、88.8%（前年度比0.2ポイントの増）でした。収益総額が前年度より減少したのは、国の高料金繰出し基準が改定され、その対策としての一般会計補助金が前年度より減少したことによるものです。

資本的収支（資産取得と借入金返済）のうち、収入の主なものは企業債で、このうち7,180万円は低利な企業債に借り換えたことによるものです。資本的収支の不足額は2億4,202万円となり、当年度分損益勘定留保資金、繰越利益剰余金処分などで補てんしました。

区分	金額	前年比
収益	6億 2,875万円	▲ 3.3%
営業収益(水道料金などの収益)	4億 9,755万円	1.0%
営業外収益(市からの補助金など)	1億 3,120万円	▲ 16.8%
費用	5億 2,015万円	▲ 7.5%
営業費用	3億 8,079万円	▲ 5.5%
営業外費用など	1億 3,936万円	▲ 12.5%
資本的収入	2億 4,244万円	▲ 8.2%
企業債(国等からの借入金)	1億 270万円	▲ 13.9%
工事負担金など	1億 3,974万円	▲ 3.4%
資本的支出	4億 8,446万円	▲ 9.1%
建設改良費	7,943万円	▲ 1.5%
企業債償還金(借入金返済)	4億 503万円	▲ 10.4%

◆こんな事業が行われました◆

民生費



附馬牛児童クラブで元気に遊ぶ子どもたち

▶保育所運営委託に6億9,600万円(うち第3子以降保育料免除分5,261万円)▶児童館運営委託に8,119万円▶乳幼児や妊産婦の医療費助成に3,369万円など

総務費



盛大に開催された市制施行50周年記念式典

▶市制施行50周年記念事業に3,084万円▶個性ある地域づくり振興事業に757万円▶戸籍の電子化に2,200万円▶地方バス路線対策に4,006万円など

土木費



生活に身近な道路として整備された元八幡前線

▶生活に身近な道路や水路の整備に1億143万円▶市道の除草や除雪などに1億4,472万円▶下一日市地区土地区画整理事業に1億358万円など

教育費



地元産食材を使った「遠野旬を食べよう給食」

▶小中学校の校舍修繕など維持管理に1,741万円▶学校給食事業に2億1,964万円▶育英事業に3,596万円▶図書館蔵書のデータベース化に1,798万円など

農林水産業費



東北ソーリズム大学開学記念講演を行う塩川正十郎名誉学長

▶農道や農業用排水施設整備などに1億2,543万円▶間伐など森林整備に6,157万円▶地籍調査事業に8,652万円▶遠野ツーリズムの推進に1,023万円など

平成16年度遠野市(旧市)の決算が、9月定例市議会で認定されました。地方交付税の大幅な減少などにより、歳入の確保が厳しい状況で限られた財源を効率的に活用した結果、歳入137億4,913万円(前年度比6億4,027万円の減)、歳出133億9,530万円(前年度比6億7,435万円の減)となりました。旧市の普通会計と特別会計、水道事業会計のそれぞれの決算のあらましと全会計連結バランスシートと普通会計行政コスト計算書を紹介します。

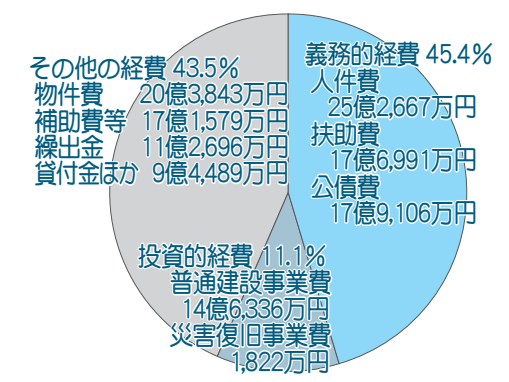
平成16年度 遠野市決算

歳出

133億 9,530万円

民生費	29億 1,335万円 (21.8%)
総務費	24億 1,377万円 (18.0%)
公債費	17億 9,107万円 (13.4%)
土木費	13億 7,954万円 (10.3%)
教育費	12億 2,350万円 (9.1%)
農林水産費	11億 8,986万円 (8.9%)
衛生費	11億 8,719万円 (8.9%)
商工費・災害復旧費・消防費など	12億 9,702万円 (9.6%)

歳出の性質別分析

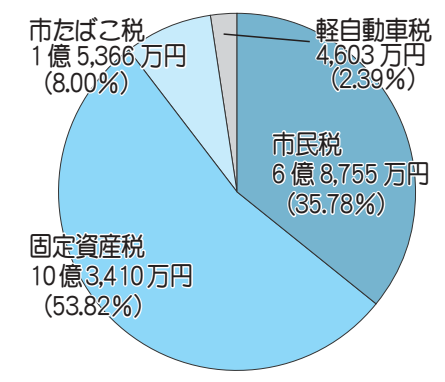


歳入

137億 4,913万円

項目	金額	割合
市税	19億 2,134万円 (14.0%)	32.2%
諸収入・使用料および手数料・繰入金・繰越金・分担金および負担金など	25億 1,023万円 (18.2%)	
地方交付税	58億 5,118万円 (42.6%)	67.8%
国庫支出金	10億 3,332万円 (7.5%)	
市債	8億 5,500万円 (6.2%)	
県支出金	7億 5,260万円 (5.5%)	
地方譲与税など	8億 2,547万円 (6.0%)	
固定資産税	10億 3,410万円 (53.82%)	

市税収入の内訳



※各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしているので、合計額が異なる場合があります。

普通会計

歳入総額は、百三十七億四千九百十三万円で昨年度に比べ4・4%減少しました。内訳は、地方交付税がトップで五十八億五千八百八万円、次いで市税、国庫支出金、市債、県支出金などの順です。皆さんから納めていただいた市民税や固定資産税、軽自動車税などの市税は昨年度より1・9%増加し、歳入の大

きな柱となっています(左円グラフ参照)。自主財源比率は32・2%、依存財源比率は67・8%と依存財源の割合が昨年度に比べ2・5ポイント低くなりましたが、依然として国の地方財政計画に左右されやすい体質といえます。歳出決算額は、百三十三億九千五百三十万円で昨年度に比べ、

4・8%の減少です。使い道を見ると民生費がトップで二十九億一千三百三十五万円(全体比21・8%)、次いで総務費二十四億一千三百七十七万円、公債費、土木費、教育費などの順です。昨年度に比べほとんど減少しましたが、生活に身近な道路や水路を整備したことにより土木費が15・8%増加しました。

主な事業は、堆肥舎などを整備した耕畜連携土づくり事業に一億七千九百万円、金融対策事業に二億九百五十五万円、稲荷下第二地区土地区画整理事業に一億三千五百二十九万円、上郷小学校改築整備事業に三千三百万円などです。

性質別に見ると義務的経費が全体に占める割合は45・4%で2・5ポイント増加、投資的経費は11・1%で2・2ポイント減少しました。

低い方が望ましいとされる公債費比率は16・6%で、県内十三市中四番目に低い値です。

財政用語の解説

▼普通会計：一般会計とケーブルテレビ事業特別会計の合計額から相互に重複する部分等を控除した会計

▼地方交付税：国が各種基準に応じて所得税や法人税などの一部を市町村に使い道を指定しないで交付するお金

▼市債：市が事業を行うときに借りるお金

▼国庫(県)支出金：市が行う事業に対して国や県から受けるお金

▼公債費：市がこれまで借りた市債の返済に充てるお金

▼自主財源：市税や使用料など市が独自に確保できるお金

▼依存財源：地方交付税や市債など国や県に依存するお金